

第5期仁淀川地域アクションプランの 修正（予定項目）

仁 淀 川 地 域 本 部

令和6年10月28日（月）

仁淀川地域アクションプランの修正(予定項目)

■修正

NO.	アクションプラン名	見直しする内容
1	No. 2 日高村まるごとブランド化 (日高村) 【実施主体】 ◎日高村、◎(株)村の駅ひだか、◎(特非)日高わのわ会、◎JA 高知県(仁淀川地区)、JA 高知県日高支所ハウス園芸部会、(株)イチネン高知日高村農園、日高村商工会、(株)霧山茶園	(特非)日高わのわ会のトマト加工施設整備予定に伴い、指標の「農産物等の売上高」の目標値を修正する。 併せて、上記指標の内数として、(特非)日高わのわ会の製造販売部門の売上高も追記する。
2	No. 19「まきのさんの道の駅・佐川」を活用した交流人口の拡大と地域の活性化 (佐川町) 【実施主体】 ◎佐川町、 ◎(一財)しあわせづくり佐川	道の駅関連事業者として実施主体に(一社)農産物直売店はちきんの店を追加する。

仁淀川地域アクションプラン

	分野	農業
AP 名 (実施地域)	No.2 日高村まるごとブランド化 (日高村)	
実施主体	◎日高村、◎(株)村の駅ひだか、◎(特非)日高わのわ会、◎JA 高知県(仁淀川地区)、JA 高知県日高支所ハウス園芸部会、(株)イチネン高知日高村農園、日高村商工会、(株)霧山茶園	
AP への位置づけ	H21.4 月	
事業概要	高糖度トマト生産における販売戦略や地域ネットワーク、産地間競争力を強化し、生産者の所得向上につなげる。地域の特産品等の開発・販売活動や「日高まるごとイタリアンプロジェクト」の推進により、日高村の知名度やブランド力の向上を図り、交流人口の拡大と地域の活性化を目指す。	

主な取り組み	これまでの主な動き	
	取り組みの内容	主な成果・課題
経営管理能力及び生産力の向上	・栽培マニュアルによる栽培技術の平準化(H21～) ・環境制御技術の取組開始(H25～) ・(株)イチネン高知日高村農園のトマト栽培参入(H28) ・データ駆動型農業を取り入れた部会全体の品質・収量の向上(R2～) ・経営管理能力の向上(R2～) ・労働力確保に向けた関係機関との連携(R2～)、JA 無料職業紹介所の活用 ・新規就農者育成・確保(R2～) ・促成高糖度トマトの機能性分析(GABA 含有量)による高付加価値化に向けた共同研究(R4～)	【成果】 ・産地面積拡大 H27：8.3ha →R5：8.8ha ・次世代型環境制御技術の導入拡大による生産技術の強化 導入面積 H27：7.1% →R4：52.1% ・新商品の開発 延べ 15 件 (R2～R5) ・「オムライス街道」によるオムライス販売数延べ 520,066 食 (H26 ～R4) 【課題】 ・担い手営農の定着 ・経営安定に向けた労働力の確保 ・知名度の向上 ・新たな加工商品の開発 ・「日高の未来戦略」を生かした新たな取り組みの創出
特産品の開発と販売力の向上	・食の安全・安心への取り組み強化、新たな糖度区分による商品開発、販促活動(H21～) ・日高村アグリネットワーク会議の開催(H24～) ・直販市の機能をもつ「村の駅ひだか」のオープン(H26) ・村の駅ひだか増床リニューアル(H29) ・村の駅ひだかの駐車スペース拡大(H27:47 台、R4:大型車 5 台、普通車 26 台)	
「日高まるごとイタリアンプロジェクト」の推進	・日高村アグリネットワーク会議の開催 ・オムライス街道事業の実施(H27～) ・「日高まるごとイタリアンプロジェクト」の実施計画(日高の未来戦略)策定(H30) →産振補助金の活用 ・交流拠点施設「Eat & Stay とまと」がオープン(R 元.11 月)	

指標	出発点	実績			目標
		R6	R7	R8	R9
(1)農産物等の売上高 [うち、(特非)日高わのわ会の製造販売部門の売上高]	7.09 億円 [0.31 億円] (R4)				7.60 億円 [0.58 億円]
(2)村の駅ひだかの売上高	2.08 億円 (R4)				2.16 億円
(3)商品・加工品開発件数	15 件 (R2～4 累計)				25 件 (R6～9 累計)
(4)村外からの移住者数	26 組 (R2～4 累計)				20 組 (R6～9 累計)

第5期計画における行程表				
事業概要	R6	R7	R8	R9
経営管理能力及び生産力の向上 ■JA 高知県(仁淀川地区)、JA 高知県日高支所ハウス園芸部会、(株)イチネン高知日高村農園 ・個別農家の経営改善目標の達成と向上、労働力の確保と作業員の効率的な労務管理 □県(高吾農業改良普及所) ・栽培マニュアル等を活用した生産技術の向上支援 ・環境データや出荷データを活用した品質、収量の向上支援 ・個別経営目標の設定 ・労働力確保に向けた取り組みの実施	経営改善及び高付加価値による産地の強化 出荷果実糖度の測定・管理による機能性トマトの品質管理の実証			
特産品の開発と機能性に着目した販促活動の展開 ■JA 高知県(仁淀川地区)、(株)イチネン高知日高村農園 ・大学等と連携した商品開発及び販路開拓等の実施 ■日高村、日高村商工会、村内事業者 ・日高村アグリネットワークと連携した特産品等の開発及び県内外への販促活動の実施 □県(地域本部等) ・産振アドバイザー制度、産振補助金の活用の支援	トマトの機能性分析	トマトの機能性に着目した販促活動 特産品等の開発及び販促活動の実施		
加工施設の整備 ■(特非)日高わのわ会 ・新たな加工施設の整備及び稼働に向けた取り組み □県(地域本部等) ・産振アドバイザー制度、産振補助金の活用の支援	施設整備	新施設の稼働		
「日高まるごとイタリアンプロジェクト」の推進による地域活性化 ■日高村 ・プロジェクト推進に係る会議の開催、オムライス街道事業の実施、トマトやオムライスを活かしたローカルブランディング、移住促進策の推進 ■村内事業者 ・基幹産業を活かした商品開発、オムライス街道事業への参画によるオムライス販売、日高村アグリネットワークへの参画	実施計画に沿ったプロジェクトの推進			

修正前

仁淀川地域アクションプラン

分野

農業

AP 名 (実施地域)	No.2 日高村まるごとブランド化 (日高村)
実施主体	◎日高村、◎(株)村の駅ひだか、◎(特非)日高わのわ会、◎JA 高知県(仁淀川地区)、JA 高知県日高支所ハウス園芸部会、(株)イチネン高知日高村農園、日高村商工会、(株)霧山茶園
AP への位置づけ	H21.4 月
事業概要	高糖度トマト生産における販売戦略や地域ネットワーク、産地間競争力を強化し、生産者の所得向上につなげる。地域の特産品等の開発・販売活動や「日高まるごとイタリアンプロジェクト」の推進により、日高村の知名度やブランド力の向上を図り、交流人口の拡大と地域の活性化を目指す。

主な取り組み	これまでの主な動き	
	取り組みの内容	主な成果・課題
経営管理能力及び生産力の向上	・栽培マニュアルによる栽培技術の平準化(H21～) ・環境制御技術の取組開始(H25～) ・(株)イチネン高知日高村農園のトマト栽培参入(H28) ・データ駆動型農業を取り入れた部会全体の品質・収量の向上(R2～) ・経営管理能力の向上(R2～) ・労働力確保に向けた関係機関との連携(R2～)、JA 無料職業紹介所の活用 ・新規就農者育成・確保(R2～) ・促成高糖度トマトの機能性分析(GABA 含有量)による高付加価値化に向けた共同研究(R4～)	【成果】 ・産地面積拡大 H27：8.3ha →R5：8.8ha ・次世代型環境制御技術の導入拡大による生産技術の強化 導入面積 H27：7.1% →R4：52.1% ・新商品の開発 延べ 15 件 (R2～R5) 【課題】 ・担い手営農の定着 ・経営安定に向けた労働力の確保 ・知名度の向上 ・新たな加工商品の開発
特産品の開発と販売力の向上	・食の安全・安心への取り組み強化、新たな糖度区分による商品開発、販促活動(H21～) ・日高村アグリネットワーク会議の開催(H24～) ・直販市の機能をもつ「村の駅ひだか」のオープン(H26) ・村の駅ひだか増床リニューアル(H29) ・村の駅ひだかの駐車スペース拡大(H27:47 台、R4:大型車 5 台、普通車 26 台)	・「オムライス街道」によるオムライス販売数延べ 520,066 食 (H26 ～R4) ・「日高の未来戦略」を生かした新たな取り組みの創出
「日高まるごとイタリアンプロジェクト」の推進	・日高村アグリネットワーク会議の開催 ・オムライス街道事業の実施(H27～) ・「日高まるごとイタリアンプロジェクト」の実施計画(日高の未来戦略)策定(H30) →産振補助金の活用 ・交流拠点施設「Eat & Stay とまとと」がオープン(R 元.11 月)	

指標	出発点	実績			目標
		R6	R7	R8	R9
(1)農産物等の売上高	7.09 億円 (R4)				7.48 億円
(2)村の駅ひだかの売上高	2.08 億円 (R4)				2.16 億円
(3)商品・加工品開発件数	15 件 (R2～4 累計)				25 件 (R6～9 累計)
(4)村外からの移住者数	26 組 (R2～4 累計)				20 組 (R6～9 累計)

第 5 期計画における行程表					
事業概要	R6	R7	R8	R9	
経営管理能力及び生産力の向上 ■JA 高知県(仁淀川地区)、JA 高知県日高支所ハウス園芸部会、(株)イチネン高知日高村農園 ・個別農家の経営改善目標の達成と向上、労働力の確保と作業員の効率的な労務管理 □県(高吾農業改良普及所) ・栽培マニュアル等を活用した生産技術の向上支援 ・環境データや出荷データを活用した品質、収量の向上支援 ・個別経営目標の設定 ・労働力確保に向けた取り組みの実施					経営改善及び高付加価値による産地の強化 出荷果実糖度の測定・管理による機能性トマトの品質管理の実証
特産品の開発と機能性に着目した販促活動の展開 ■JA 高知県(仁淀川地区)、(株)イチネン高知日高村農園 ・大学等と連携した商品開発及び販路開拓等の実施 ■日高村、日高村商工会、村内事業者 ・日高村アグリネットワークと連携した特産品等の開発及び県内外への販促活動の実施 □県(地域本部等) ・産振アドバイザー制度、産振補助金の活用の支援 加工施設の整備 ■(特非)日高わのわ会 ・新たな加工施設の整備及び稼働に向けた取り組み □県(地域本部等) ・産振アドバイザー制度、産振補助金の活用の支援	トマトの機能性分析	トマトの機能性に着目した販促活動			特産品等の開発及び販促活動の実施 施設整備 新施設の稼働
「日高まるごとイタリアンプロジェクト」の推進による地域活性化 ■日高村 ・プロジェクト推進に係る会議の開催、オムライス街道事業の実施、トマトやオムライスを活かしたローカルブランディング、移住促進策の推進 ■村内事業者 ・基幹産業を活かした商品開発、オムライス街道事業への参画によるオムライス販売、日高村アグリネットワークへの参画					実施計画に沿ったプロジェクトの推進

仁淀川地域アクションプラン		分野	商工業
AP 名 (実施地域)	No.19 「まきのさんの道の駅・佐川」を活用した交流人口の拡大と地域の活性化 (佐川町)		
実施主体	◎佐川町、◎（一財）しあわせづくり佐川、 <u>（一社）農産物直売店はちさんの店</u>		
AP への位置づけ	R2.4 月		
事業概要	R5 年 6 月に開駅した「まきのさんの道の駅・佐川」を拠点として、地元の特産品等の販売を促進するとともに、地域の木材に触れられる場の提供や周辺の観光施設との連携を通じて、交流人口の拡大と地域の活性化を目指す。		

指標	出発点	実績			目標
		R6	R7	R8	R9
(1)年間売上高	—				325,000 千円
(2)レジ通過者数	—				32 万人

主な取り組み	これまでの主な動き	
	取り組みの内容	主な成果・課題
道の駅施設の整備、 体制強化	・佐川町道の駅検討委員会で建設候補地等を検討（H28～29） ・道の駅建設候補地の絞り込みと決定（H30～R 元） ・関係者等の参画による、道の駅基本構想策定ワークショップを実施（R 元：6 回） ・佐川町道の駅基本計画策定委員会の開催（R2：3 回） ・「まきのさんの道の駅・佐川」基本設計書策定のための住民説明会・ワークショップ（R2～3：4 回） ・「まきのさんの道の駅・佐川」実施設計業務の実施（R3） ・運営組織「一般財団法人しあわせづくり佐川」設立（R3） ・農山漁村振興交付金を活用した施設整備（R3～4） ・事業計画書、収支計画書の策定（R3） →産振アドバイザー制度の活用 ・施設整備（R4） →産振補助金の活用 ・おもちゃ美術館の整備（R4） →地方創生交付金、地域観光振興交付金の活用 ・おもちゃ美術館学芸員養成講座の実施（R4～）	【成果】 ・関係者によるワークショップを基に、道の駅基本構想を策定（R 元） ・道の駅基本計画策定委員会での協議を通じ、道の駅基本計画を策定（R2.8 月） ・住民説明会・ワークショップでの意見を基に、道の駅基本設計書を策定（R3.6 月） ・道の駅オープン（R5.6.25） ・おもちゃ美術館開業（R5.7.15） ・地域資源を活用した商品・メニュー開発（R2～4：14 品） 【課題】 ・まきのさんの道の駅を活用した佐川観光客の町内周遊に向けた仕掛け作り ・町全体の賑わいの創出につながる仕組みづくり ・地域資源を活用した魅力ある商品等の磨き上げ・開発
佐川町の特産品等の 充実強化	・佐川町商品開発ワークショップを開催（R2：5 回） ・商品開発ブラッシュアップ事業（R2～） ・産振アドバイザー制度を活用した道の駅オリジナル商品の開発（R4～）	・道の駅オリジナル商品（バウムクーヘン）の完成

第 5 期計画における行程表				
事業概要	R6	R7	R8	R9
道の駅の運営体制の強化 ■佐川町、（一財）しあわせづくり佐川 ・安定した運営に向けた人員体制の構築 ・スタッフのスキルアップ等により責任者となる人材の育成 ・必要に応じて外部人材の登用 ・運営状況等に関する定例会の実施 道の駅を核とした町内周遊に向けた取組強化 ■佐川町、（一財）しあわせづくり佐川 ・町内関係事業者との連携による観光客の町内周遊に向けた仕掛け作り ・地域資源を活用した商品・メニューの磨き上げ及び開発 □県（地域本部等） ・産振アドバイザー制度の活用提案、産業振興総合補助金の活用検討、各種支援制度に関する情報提供	人材の育成・確保			
	定例会による運営状況の把握・情報共有			
	物販・飲食・体験型観光メニューの磨き上げ及び開発			
	道の駅を利用した佐川町及び仁淀川流域 PR イベント等の実施			
佐川町の特産品等の販売促進 ■佐川町、（一財）しあわせづくり佐川 ・佐川町特産品等の品揃えの充実 ・出荷（生産）者との連携体制の構築 ・道の駅オリジナル商品（バウムクーヘン）のブラッシュアップ ・SNS、メディア等を活用した情報発信 ・EC サイトの活用による売上向上及び販路拡大 □県（地域本部等） ・県のメディアサイト等での情報発信、産振アドバイザー制度の活用提案	施設（物販コーナー）の魅力づくり			
	佐川町特産品等の充実及び安定的な出荷体制づくり			
	オリジナル商品のブラッシュアップ			
	観光案内所機能の発揮及び情報発信の強化			
	EC サイトの開設	EC サイトの活用による売上向上及び販路拡大		

修正前

仁淀川地域アクションプラン

	分野	商工業
AP 名 (実施地域)	No.19 「まきのさんの道の駅・佐川」を活用した交流人口の拡大と地域の活性化 (佐川町)	
実施主体	◎佐川町、◎（一財）しあわせづくり佐川	
AP への位置づけ	R2.4 月	
事業概要	R5 年 6 月に開駅した「まきのさんの道の駅・佐川」を拠点として、地元の特産品等の販売を促進するとともに、地域の木材に触れられる場の提供や周辺の観光施設との連携を通じて、交流人口の拡大と地域の活性化を目指す。	

主な取り組み	これまでの主な動き	
	取り組みの内容	主な成果・課題
道の駅施設の整備、体制強化	・佐川町道の駅検討委員会で建設候補地等を検討（H28～29） ・道の駅建設候補地の絞り込みと決定（H30～R 元） ・関係者等の参画による、道の駅基本構想策定ワークショップを実施（R 元：6 回） ・佐川町道の駅基本計画策定委員会の開催（R2：3 回） ・「まきのさんの道の駅・佐川」基本設計書策定のための住民説明会・ワークショップ（R2～3：4 回） ・「まきのさんの道の駅・佐川」実施設計業務の実施（R3） ・運営組織「一般財団法人しあわせづくり佐川」設立（R3） ・農山漁村振興交付金を活用した施設整備（R3～4） ・事業計画書、収支計画書の策定（R3） →産振アドバイザー制度の活用 ・施設整備（R4） →産振補助金の活用 ・おもちゃ美術館の整備（R4） →地方創生交付金、地域観光振興交付金の活用 ・おもちゃ美術館学芸員養成講座の実施（R4～）	【成果】 ・関係者によるワークショッ プを基に、道の駅基本構 想を策定（R 元） ・道の駅基本計画策定委 員会での協議を通じ、道 の 駅 基 本 計 画 を 策 定 (R2.8 月) ・住民説明会・ワークショッ プでの意見を基に、道の駅 基本設計書を策定 (R3.6 月) ・道の駅オープン (R5.6.25) ・おもちゃ美術館開業 (R5.7.15) ・地域資源を活用した商 品・メニュー開発 (R2～4：14 品) ・道の駅オリジナル商品 (バウムクーヘン) の完成 【課題】 ・まきのさんの道の駅を活 用した佐川観光客の町内 周遊に向けた仕掛け作り ・町全体の賑わいの創出 につながる仕組みづくり ・地域資源を活用した魅 力ある商品等の磨き上げ・ 開発
佐川町の特産品等の 充実強化	・佐川町商品開発ワークショップを開催（R2：5 回） ・商品開発ブラッシュアップ事業（R2～） ・産振アドバイザー制度を活用した道の駅オリジナル商品の開発（R4～）	

指標	出発点	実績			目標
		R6	R7	R8	R9
(1)年間売上高	—				325,000 千円
(2)レジ通過者数	—				32 万人

第 5 期計画における行程表					
事業概要		R6	R7	R8	R9
道の駅の運営体制の強化 ■佐川町、（一財）しあわせづくり佐川 ・安定した運営に向けた人員体制の構築 ・スタッフのスキルアップ等により責任者となれる人材の育成 ・必要に応じて外部人材の登用 ・運営状況等に関する定例会の実施		人材の育成・確保			
道の駅を核とした町内周遊に向けた取組強化 ■佐川町、（一財）しあわせづくり佐川 ・町内関係事業者との連携による観光客の町内周遊に向けた仕掛け作り ・地域資源を活用した商品・メニューの磨き上げ及び開発 □県（地域本部等） ・産振アドバイザー制度の活用提案、産業振興総合補助金の活用検討、 各種支援制度に関する情報提供		定例会による運営状況の把握・情報共有			
		物販・飲食・体験型観光メニューの磨き 上げ及び開発			
		道の駅を利用した佐川町及び仁淀川流 域 PR イベント等の実施			
佐川町の特産品等の販売促進 ■佐川町、（一財）しあわせづくり佐川 ・佐川町特産品等の品揃えの充実 ・出荷（生産）者との連携体制の構築 ・道の駅オリジナル商品（バウムクーヘン）のブラッシュアップ ・SNS、メディア等を活用した情報発信 ・EC サイトの活用による売上向上及び販路拡大 □県（地域本部等） ・県のメディアサイト等での情報発信、産振アドバイザー制度の活用提案		施設（物販コーナー）の魅力づくり			
		佐川町特産品等の充実及び安定的な 出荷体制づくり			
		オリジナル商品のブラッシュアップ			
		観光案内所機能の発揮及び情報発信 の強化			
		EC サイト の開設	EC サイトの活用による売上 向上及び販路拡大		